

平成25年度 SCOPE 新規研究開発課題の採択通知書交付式を行いました

～ 中国管内で ICTイノベーション創出型研究開発 2件、地域ICT振興型研究開発 1件を採択 ～

採択通知書交付式の様子



広島市立大学 角田 良明 氏



広島大学 吉田 毅 氏



広島市立大学 谷口 和弘 氏

中国総合通信局(局長 齊藤一雅)は、平成25年度戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)に新規採択された研究課題3件について、採択通知書の交付式を平成25年8月22日に当局局長室で行いました。今年度、新たに採択された研究開発課題は次のとおりです。

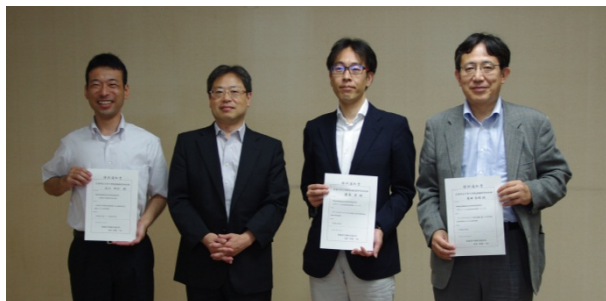
- 1 アシユアランスネットワーク設計原理に基づいた平常時災害時両用システムの研究開発
(研究代表者:広島市立大学大学院 角田 良明 氏)
- 2 テラヘルツセンシングシステムの実現に向けたCMOS要素技術の研究開発
(研究代表者:広島大学大学院 藤島 実 氏、代理出席 吉田 毅 氏)
- 3 広島発・産学官医連携体制による高齢者見守り支援システムの研究開発
(研究代表者:広島市立大学大学院 谷口 和弘 氏)

交付式では、齊藤局長が、各研究課題の研究代表者等である3氏に対して採択通知書を交付するとともに、「独創性、新規性、社会実装に向けた実現性での高い評価が今回の採択につながりました。皆様の研究開発の成果が、中国地域や日本全体を元気にする起爆剤となることを期待します」と挨拶しました。

交付式後の対談では、それぞれ、

- 角田氏からは、「アシユアランスネットワーク」は、ネットワークを取り巻く環境に左右されずにスマートフォン同士が確実にデータを伝えていく技術であり、平常時には地域における情報交換のツールとして、また、災害時には安否情報等の伝達手段となることが期待される」との説明、
- 吉田氏からは、「微細CMOS技術によるテラヘルツセンシングの活用により、空港での手荷物検査の精度の向上をはじめ、鉄筋コンクリートの非破壊調査や食品腐敗の分析などが可能となり、また、センシング以外にも、超高速無線データ通信への応用も期待される」との説明、
- 谷口氏からは、「『耳スイッチ』とスマートフォンによる高齢者の見守りに加えて、高齢者の日常生活やコミュニケーションを助けるツールとしての利用が可能であり、また、高齢者だけでなく健康意識の高い地域住民のための総合的な健康管理の仕組みに発展させることも期待される」との説明がありました。

中国総合通信局では、研究開発と社会実装の両面で、先進的モデルの構築を応援していく考えです。



谷口氏 齊藤局長 吉田氏 角田氏



対談の様子

お問い合わせ先:
情報通信部
情報通信連携推進課
TEL 082-222-3408